

こんにちは

白子の議会

です

わたしたちの願いがかないますように



第149号

令和5年7月20日

編集発行

千葉県白子町議会

☎0475(33)2169

令和5年第2回定例会(6月8日～6月14日)

🗳️ 9議員が一般質問……2～10ページ 🗳️ 補正予算等の質疑応答……11ページ 🗳️ こんなことが決まりました……11～12ページ



一般質問 町政をさく

不妊治療の助成について

宗島 理仁 議員

議員 現代社会において、女性の活躍する場が増える一方で、晩婚化や少子化が進み、現在、55組に1組が不妊の検査や治療を受け、子供の14人に1人が体外受精児、生殖補助医療によって誕生する時代です。

このような中で、昨年4月から少子化対策の一環として、不妊治療が公的医療保険適用となり、自己負担額が全体の3割となりました。

公的保険適用から1年が過ぎ、この自己負担分を独自に助成する制度が全国の多くの自治体で創

設されてきています。

例えば、群馬県高崎市では、一般不妊治療で最大10万円、体外受精など特定不妊治療で最大30万円を支援する枠組みを維持し、保険適用の自己負担分や、保険外の治療費の適用ができるということとで、若い世代の負担軽減につなげています。

不妊治療における選択肢を広げ、子供を望む町民を広く応援するために、我が町でも独自に支援策に取り組むべきかと思いますが、見解を伺います。

前向きに検討をする

健康福祉課長 町としては、保険適用の範囲の内外を問わず、本人負担額のうち年額の上限額を定めて、助成する方法を町方針として前向きに検討していきたいと思っています。



地域商品券について

議員 新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和されつつあるものの、世界的な需要増加や、原材料価格の高騰や原油価格の上昇による物流費、包装資材の値上がりなどが続き、最近では、大手電力7社が国に申請している電気料金の値上げが了承され、今もなお物価上昇が続いています。

そのような中で、新型コロナウイルス生

臨時交付金を使用し、白子町地域商品券を新たに配布することですが、金額等の事業の詳細はどのようなものか伺います。

1人5千円を配布

町長 名称を「町民生活支援商品券配布事業」とし、町内で使用できる商品券を発行し、物価の高騰及び新型コロナウイルス感染症の影響によって、停滞・縮小傾向にある消費意欲を刺激し、地域経済の活性化を図ることを目的としています。

配布する商品券の金額は、1人当たり5千円とし、全町民を対象として配布する計画になっています。

都市マスタープランについて

議員 白子町都市マスタープラン改定業務委託公募型プロポーザルを実施されましたが、平成11年に作成して以来、改定がなかった本計画において、どのような意図で改定をするのか詳細を伺います。

新たなまちづくりの将来像として

町長 新たなまちづくりの将来像が示されたこと及び、新たな潮流を見据えた今後の白子町が目指すべき将来の都市づくりを推進していくために行うものであります。



子供の笑顔は町の宝

歩道整備計画について

大多和 正夫 議員

議員 児童の通学路を含め町全体の歩道設置率は低い状況です。

本町の令和2年度の65歳以上の人口比率は40.5%と高い状況にあり今後増加傾向が続きます。高齢者の移動手段は多種多様であり、移動における安全環境確保のための歩道整備は、早急の課題です。

特に2021年6月、八街市の歩道の無い市道において、下校途中の児童の列にトラックが突っ込み児童5人が死傷するという痛ましい事故が発生しています。

このような痛ましい事故を防ぐためにも、1級、2級町道の歩道整備を計画的に進めていく必要があります。町の歩道設置率は、1級町道で42.5%、2級町道で33.1%の設置率です。

現在町道107号線の

歩道整備を実施しているが、新たな歩道整備計画があるかを伺います。またその計画に、交通量の多い町道108号線の歩道整備が含まれるのかを伺います。

108号線も整備を進めていく

町長 主要道路の歩道整備については順次整備を進めています。



北高根交差点

町道108号線については、地元から要望があ

り、また交通量の増加による安全性の確保を要することや、隣接する長生村側が歩道整備がされており、本町も同様な形で整備が必要と考えています。

現在整備中の町道107号線の歩道整備完成の目途がついた段階で事業化に向けて取り組んでまいります。

寝具クリーニング支援事業創設について

議員 町の令和2年度の65歳以上の人口推移は、40.5%であり、昭和60年度に比較し25.7ポイント増加しています。令和7年度には45.2%と予想されており、少子高齢化が確実に進んでいます。

町における令和5年5月の要支援・要介護認定者は715人であり、ます。

そのうち特別養護老人ホームに入居する資格のある要介護3以上の方が315人おり、うち在宅介護者は213人おります。

自分で立ち上がった

り、歩いたりするのが困難であり、全面的に中程度の介護が必要な状況の要介護3以上の方および同等の障害者の方で、寝具の衛生管理が困難で、在宅での介護が必要な方々の寝具クリーニングについて、月1回の全額費用支援に取り組む考えがあるかを伺います。

要介護4・5の方は介護保険のベットメイク等によりカバー可能

町長 寝具のクリーニング支援が最も必要と思われる対象者は要介護4ないしは5の主に関わらず、在宅者と考えられます。これらの方々は尿漏れ等で布団が汚れてしまうことが多いと推察されますが、寝具の清潔保持については、介護サービスのベットメイク等のプランでカバーできるので、現在のところ支援事業を実施する考えはありません。

健康福祉課長 県内では寝具クリーニング支援を

大多喜町が実施しております。

今後、地域ケア会議などで地域の課題として要望が多くあれば助成の必要なものについて調査研究をしたいと思っています。

現場を肌で感じて

議員 要介護3で在宅介護されている方で金銭的な理由により、特養に入居できない方が相当いると思います。

そのような方への衛生環境向上のための支援が必要だと思います。

地域からの要望を待つのではなく、自ら在宅介護者宅を訪問し介護保険ではケアできない問題点等を肌で感じて頂きたいということを要望します。



いざって時の消防団

梅澤 哲夫 議員

議員 自然災害が発生すると消防団の活躍が二ユース等で流れます。そんな消防団に最近加入者が少なく、操法大会へのメンバーがそろわない事もあるとか、町及び近隣町村の消防団への参加状況について伺います。

団員の確保困難

町長 白子町の所属する第7支団では、毎年5・6月にかけて北消防署と連携で1か月に渡る操法訓練を行い操法大会をしております。

近年、家庭や仕事の都合で訓練参加者の確保困難から大会参加を見合わせる班もあります。

消防技術の習得

総務課長 操法大会については国においても団員

消防団の環境は

の過度な負担とならないよう消防庁からも各市町村へ助言されています。団員の意見を尊重しながら消防技術の習得を第一とした大会が理想となっております。

議員 今回消防団について質問するきっかけとなった事として、日常活動の中で操法大会参加等のお互いに軋轢から、このままでは町に住みたくないという若手団員から相談を受けたことです。

現在若者が減少する中、課題をかかえる団員に町の対応はどうしてるのか。消防団に対する環境について伺います。

団員の声を聞きながら

町長 消防団員に対する

支援ですが、団員報酬として構成町村の負担により広域消防本部より、年額2万8千円から2万2千円が支給され、その他出勤手当も出されております。



操法大会

各市町村の消防団も白子町同様団員の減少や高齢化、操法大会出場者の確保の困難という共通の課題をかかえて郡内すべての支団が定員割れをしています。

消防本部と連携を図り団員の声を聞きながら取り組んでまいります。

町在住の職員数は

議員 災害発生時に非常出勤が要請される町職員において、対応できる近在在住の職員の割合はど

のくらいか伺います。

対策の周知を

町長 近在在住の職員の割合は60%ですが災害の種類や規模に応じた、対策を全職員に周知してま

朝市、移動スーパーについて

議員 朝市が春祭りの白子神社桜広場にて行われ、私も出店団体の一員として参加しました。初めての企画とのことで出店者は、意欲的に動いてました。しかし、食料関係が少なく来店者も多いとは言えませんでした。

また、移動スーパーも始まりましたが、集客数が少なく、販売時間が短いのではと聞きます。現状について伺います。

まずまずの成果

町長 地域おこし協力隊員を中心に2か月に1回、移動スーパーについ

ではサービス提供業者と意見交換しながら進めており、まずまずの成果と思えます。



移動スーパー

スーパーはどうなってる

議員 町からスーパーが撤退して1年がたちます。地域の人から「スーパーはどうなってる。」との声があります。今後の見通しを伺います。

用地の取得から

町長 出店打診したところ、希望場所が農用地区域であり、農振除外の手続きが必要となり、県知事の同意をえるため、現在、県の各部署と協議検討しております。

1. 都市計画マスタープランについて 2. 带状疱疹ワクチン接種補助について

東海林 東治 議員

議員 市町村の都市計画に関する基本的な方針は平成4年に都市計画法の改正により導入された制度であります。

地方自治法に基づき附属機関とし、議会の審議を経て決定され、基本方針は沈滞なく町民に公表され、県知事へ通知されたはずで。

4項目に渡る課題があり、白子町は、平成11年3月30日に白子町都市計画マスタープランを作成したはずで。

町の一大プロジェクトとして、企画課から分離し、都市計画課を作り、県より専門家を呼び、20年先のまちづくり構想を5年間費やし、調査、立案、資料作成の当初予算は、約5千9百万円、人件費を合計すると1億円以上の公費が機能したか

疑問であります。

町の総合計画と共に見直し、その間には、大震災、それに基づき地方創生が詠われたのも拘わらず、当時の執行部、議会が予算執行に賛成し、見直し及びチェックも無く経過した事は、議会の一人として町民の皆さんに深くお詫び申し上げます。町長の所感を伺います。

24年ぶりの見直し

町長 当時の人口が減少でなく、増加傾向を基礎に作成であり、見直し修正していない事は、申し訳なかったとおります。



今後の白子町都市計画マスタープランの改定は、まちの上位計画である白子町総合計画の見直しにより、まちづくり方針が転換された場合、おおむね5年ごとに県から依頼で行う都市計画の基礎調査の結果を踏まえ、状況に応じて改定して参ります。

町に夢があった

議員 当時のまち構想には、地域別に住居地域、職業地域、観光地域、文教、公共施設地域を明示され、現在の見直しと類似の部分があります。

都市計画は、以前からの積み重ね、蓄積が必要で、改定、改正の上で、本当に住んでよかったと云うまちづくりが出来上がる訳であります。

当時の計画が何故まちづくりに繋がらなかったのか理由を伺います。



無秩序な開発の歯止め

建設課長 過去の計画は、限りある土地を有効利用し、保全の観点から、無秩序な開発の規制等がないため、土地需要を量的に調整の目的として策定されておりました。

町内の土地利用に関して大きな変化が無いために見直しを検討されなかった事が理由です。



带状疱疹ワクチン接種補助

議員 特に体力が落ちつつある50代から80代の3人に1人の方々が発症の可能性がある事です。

水ぶくれと赤い発疹が体の左右どちらか一部に広がり、強い痛みがある皮膚病の疾患であります。症状は、3、4週間続き、上半身及び顔、手、

頭などに現れるといわれております。

ワクチン接種により、ウィルスの増殖を抑制し、痛みを緩和し、合併症や後遺症を軽減する働きがあります。

町では、インフルエンザ予防接種、子宮頸がん予防接種等々の補助事業がございます。

近隣市町村のいすみ市、長生村は早々に取り組んでおりますが、本町に於いても補助事業の促進があるか伺います。

善処し検討する

町長 ワクチン接種は発症、感染予防の観点から意義が大きいと認識しております。感染力が強く、発症した際の健康被害や蔓延による影響があるものは、予防接種法に基づき定期接種として進めております。

このワクチン接種の推奨は、国、県、他市町村の取り組みを鑑み善処し前向きに検討して行きます。

町の活性化について

北田 百人 議員

議員 コロナ禍も落ち着き、夏を迎えるに当たり、これまでに控えていたイベントの再開や新規開催を考えているか伺います。

たまねぎ祭り等開催

町長 令和4年度から5年度にかけて、白子町げんき夏祭り、青空祭り、しらこ温泉桜祭り、たまねぎ祭りや白子げんき朝市を開催しております。

今後、イベントを実施しやすい環境を整え、多様性やイベントの持続可能性が高まるようなサポートに努め、開催する側、参加する側双方の連帯感が生まれることにより、真の意味での地域活性化につながればと考えております。

企画財政課長 地域おこし協力隊を中心として、

町内に自主活動的に色々なイベントを目指して行ってくれている方々が増えてきています。町としてはサポートしていきたいと考えています。

作る側、参加する側が楽しみながら、自分たちのアイデアで行えるようなものに今後も続けていければと考えております。

たまねぎ祭りについて

議員 本年開催したたまねぎ祭りの内容について伺います。

開催内容を見直し

町長 4年ぶりに開催した本年のたまねぎ祭りは、旧来のたまねぎ掘り取り体験を行わず、たまねぎ組合生産者による直売会を主として、地元特産品の販売や露店等の出

店を行うとともに、太鼓、ダンス等のパフォーマンス実演による開催いたしました。



防災対策について

議員 昨今、世界的にも国内でも地震が多発しております。耐震性の低い役場庁舎内に対策本部を置いて大丈夫なのか伺います。

一方で、災害時は自治体だけでは到底カバーできないものがあると思います。民間企業との災害時協定が必要だと思いますが、現在の取組について伺います。

具体的な対策内容を定めている

町長 平成30年に策定した白子町業務継続計画の中で、役場庁舎が使用不

能となった場合の代替施設として、第1に青少年センター、第2に関小学校を活用すると位置づけております。

また、白子町地域防災計画は、適宜見直しを実施して、町ホームページへ掲載しておりますが、町民への周知は分かりやすさが重要だと考えております。

その対策として、令和2年3月に白子町防災の手引き、白子町ハザードマップを作成し、各戸配布しております。

総務課長 昨年度からSNS、LINEを使った防災情報の配信に取り組んでいます。

災害時協定につきましては、先日、町内の建設業災害対策協会、千葉土建組合と防災協定を締結しました。



南日当橋の取付道路の進捗状況について

議員 東日本大震災から月日が経過し、過去の記憶が薄れています。

今一度、避難道路の重要性を再認識すべきですが、南日当橋の取付道路の状況はどうなっているのか伺います。

進捗は鈍い

町長 本路線は避難路としての役割を果たしているところから、重要な路線として認識しておりますが、道幅が狭い区間等の難しい課題もあるため、なかなか進んでいないのが現状でございます。

昨年12月末に、地籍調査事業による剃金地区の登記が完了したことから、道路線形を含む基本的な方針を定めるため、改めて本年度から事業化を視野に入れながら現地調査を進めてまいります。

人口減少及び少子化問題について

板倉 正道 議員

議員 国は、異次元の少子化対策とし、こども家庭庁を設立し、問題解決に取り組む、その予算額は3兆5千億円余りとされています。

物価高騰に対し、子育て支援のため現金給付をしようと県内市町村の約半数が予算計上しました。

長生郡内では、睦沢町、長生村、長柄町、長南町も給付、茂原市も検討中です。白子町はどう進めていくのか伺います。

また、人口減少に対しどのような歯止めや対策を考えているのか伺います。

子育て支援が重要

町長 対策として出生数が増えることは重要であるが、子育て環境が整っていないれば出産しても町外に転出してしまいま

す。

町でも子育て支援係を設置するなど、できることから始めています。安心な子育て環境・教育の充実と各課の事業が連携し、地域ぐるみで子育て支援を実施することが重要だと思っています。

企画財政課長 高校1年生までの給付に対する補足給付については、郡内の状況を確認させていただき、対応できるものは対応します。



人口減少に対しどのような対策があるのか

議員 私の住む地区は現在13戸あります。13戸中、未婚の男女が13人おります。

町内では何名ほどいるのか伺います。

また、その人たちは『結婚したいが相手がない』『機会がない』など原因はいろいろあると思います。行政としてその取り掛かりを考えてほしいが見解を伺います。

数は把握できません

住民課長 現段階では、システム上、未婚、既婚者数は把握できません。

白子町独自の対策を

議員 町のアイデアで一人でも多くの若者が結婚に踏み切れるような政策を求めます。

町が結婚問題に向かい施策を発表することにより人を動かし、町を動か

し、国を動かすような施策で改革を進めてください。

環境問題について

議員 花の咲くまちづくりが行われていますが、満足のいく結果が得られないように思われます。何が問題であると認識しているのか伺います。



知識不足 技術不足が問題

町長 花の咲くまちづくりは思うような結果が上がっていないのが現状で

す。今後は、専門知識を有した方に聞きながら、管理を行っていきたいと思います。

汚泥堆肥の処理問題

議員 コミニティプラントから産出される汚泥堆肥の処理に苦慮しているようですが、今後、どのような対応を考えているのか伺います。

近年、肥料価格が高騰しています。白子町は、玉ねぎの産地でもあり、堆肥を有効利用するのに、汚泥と稲のもみ殻を使つての肥料を作り、各農家に分けるというようなシステムが作れないものか伺います。

肥料の有効活用

環境課長 もみ殻を使った堆肥と汚泥を組み合わせ、堆肥として使用しています。

より良い堆肥を作るとなると予算的なこともありますので、今後、検討したいと思っています。

- 1、白子町補助金適正化ガイドラインについて
- 2、旧白子町国民宿舎白子荘跡地等の利活用基本構想案などについて

大多和 秀一 議員

町の施策の推進の必要に当たり、公益性の高い特定の事務や事業を対象として交付されている補助金について、JTBで策定された跡地等の利活用の基本構想案について伺いました。

ガイドラインは 何を基本に作成

議員 昨年11月に示された白子町補助金適正化ガイドラインは、これまでの補助金のあり方をより明確化されたように思えるが、どのような基準で作成されたものか伺います。

他の市町村を参考に

企画財政課長 令和2年3月に策定された「第4次白子町行財政改革プラン」において、補助金の見直しの方針が出され、これに基づき取り組んできました。しかしながら統一的な「交付基準」や「見

直し基準」は定めておらず、明確化されていませんでした。

この状況を踏まえ、見直しの統一基準を定めた補助金適正化ガイドラインを示し、補助金のルールを定めたものです。

交付団体への 事前説明は

議員 ガイドラインを示すにあたり、事前に交付されている団体に告知をし、意見調整が図られたのか伺います。

事前通知はなし

企画財政課長 このガイドラインを制定した際に、各団体に通知をしたり、影響額の計算を示したりしたことはありません。

活動の変化は

議員 ガイドラインを示したことで、各団体の活動状況について変化があったのか、また影響額はどの程度なのか伺います。

今後の運営を

心配する声も

町長 調査を実施していただく中で多くの意見がありました。補助金が減額された場合、自主財源の確保や会費等での運営を心配する意見がある一方、事業の見直しをするよい機会となったとの意見もありました。

影響額として1500万円程度の削減効果額となりました。

教育長 教育委員会部局

が最も対象団体が多く現在17団体ありますが、各団体では5月頃までに今年度の事業計画を作成しこの対応に取り組んでいくところです。

もう少し具体的な 絞り込みが必要では

議員 旧白子町国民宿舎跡地等の利活用についてですが、策定料500万円、業務委託された基本構想(案)の評価と、今後の進め方について伺います。

成果品については

検討の余地あり

町長 基本構想策定業務については、公募型プロポーザルを経て、株式会社JTBと契約締結後、アンケート及びヒアリングの実施、分析、関係法令や関連計画の調査、整理、先進事例の調査などを実施し、3月に成果品が提出されました。

今後、この成果品を基

に、振興審議会において検討、協議を行い結論を得たいと考えています。旧白子荘については解体撤去し、跡地を利活用する考えであり、アクア健康センターについては、躯体調査を実施し、リノベーションをして活用したいと考えています。

企画財政課長 町の関わり方の方針については、なるべく町が関与せず運営を民間に任せられるような形態がよいと思っています。しかしながら、多くの規制がありますので、長期の契約の可否も含めて検討が必要となります。



リノベーションするアクア健康センター

小学校統合問題について

市川 隆子 議員

議員 小学校の統合問題は、これからの町にとって非常に大きな問題です。町では、小学校適正配置検討委員会が設置され2年目に入りましたが、保護者アンケートの結果や現在の状況を伺います。

令和5年度

意見交換会開催

教育長 実態把握のため、保育所・小学校の保護者対象のアンケートを実施し、87.2%の回収率で、「積極的に統合・やむを得ない」を合わせて60%、「避けるべき」は28%という結果でした。

令和5年度は保護者・地域との意見交換会を開催し、様々な意見を伺うこととしています。

就学援助の現状は

議員 就学援助制度は、入学準備金の早期支給など少しずつ前進させてきています。コロナ禍での仕事の減少や物価高騰により、子育ても大変になっていますが、現在の状況と周知について伺います。

増加傾向

教育長 令和4年度は、小中学校45名に対し援助を実施しました。

援助対象者は、増加傾向にあり、ひとり親家庭の増加やコロナ禍による収入減が主な要因と考えています。

周知は、小学校入学説明会、在校生は2月頃配付しており、町の広報やホームページにも掲載しています。

小中学校

トイレの洋式化を

議員 小中学校のトイレは和式が残っており、老朽化した古いトイレで和式では、生徒も利用しづらいと思います。

小中学校のトイレの現在の状況と改修計画について伺います。

計画的に実施したい

教育長 学校のトイレ洋式化は、小学校98か所のうち46か所、洋式化率約47%です。

中学校40か所のうち22か所、洋式化率55%という結果です。

教育課長 洋式トイレの需要はとても高いものと考えています。使用頻度の高いところでも故障しているところもありますので、そこを優先的に修理し、全てを洋式化することは難しいと思いますが、計画的に実施していきたいと考えています。

体育施設を

利用しやすく

議員 国民体育館を昼間利用したい団体、個人は近隣自治体の体育館を利用し、利用料も高くなっています。差額負担については検討することではしたが、検討状況と給食センター西側の町営テニスコートでの部活利用状況と中学生が部活外で利用する場合、子育て支援として減免できないか伺います。



中学校に隣接する町のテニスコート

6月下旬

スポーツ推進審議

会で検討

教育長 6月下旬にスポーツ推進審議会を開催し、補助すべきか諮っていきたいと思います。補助が必要との判断がなされれば、9月の教育委員会定例会で審議したいと考えています。

テニスコートについては、中学校の部活が優先的に利用しており、年間255日、790時間の利用です。

生涯学習課長 使用料は白子中の生徒が部活で利用する場合は減免となりますが、部活外での練習については、現時点で減免の考えはありません。

その他

「農業問題・農薬散布について」空き家対策について」の質問を行いました。

旧白子荘・アクアセンター跡地活用について

大多和 正之 議員

議員 旧白子荘・アクアセンター跡地活用のプロポーザル、町長も成果品を確認していると思いますが、町長のプロポーザルの成果品の感想をまずお聞かせください。

また、プロポーザルは振興審議会の協議後、計画を併せてホームページに掲載することでしたが、令和4年度事業としてホームページに掲載することが望ましいと思うが、考えをお聞かせください。

すばらしいと言
い難い

町長 基本構想策定業務につきましては、アンケート及びヒアリングの実施、分析、関係法令や関連計画の調査、整理、先進事例の調査などを実施



旧白子荘・アクアセンター跡地周辺地区

し、3月末に成果品が提出されました。
成果としては非常にすばらしいと言いつてもいいと思います。

企画財政課長 振興審議会の審議内容については、令和4年度に行いました後期基本計画の策定と同じように、議事録込みで資料も全部公表してまいりましたので、同じような形で基本構想はその段階で公表したいと思っています。

観光案内、観光ガイドブックについて

議員 ホームページを検索したところ、観光ガイドブックにおいては2013年4月18日から更新されてなく、観光ガイドブックの各ページ内の更新や構成、またスマホによる観光案内や飲食店検索アプリなどを今後進める考えがあるか伺います。



白子町観光ガイドブック

改定制作に取り組む

町長 現行観光ガイドブックの情報、内容を見直し、改定制作に取り組む予定です。

商工観光課長 ツイッターやフェイスブック、インスタグラム等SNSを活用して、情報発信に積極的に取り組んでいければと思っています。

ヘルメットの着用について

議員 自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化され、白子広報、白子町小中げんきプラン以外での白子町におけるヘルメット着用の啓発状況を伺います。
また命を守るため、自転車ヘルメット購入時に町が助成する考えがあるか伺います。

助成は不可能ではない

町長 自転車の安全利用の促進について、広報啓発に努めてまいります。

企画財政課長 ヘルメットの購入助成は、財政事情等も加味した上で、一定の結論を得たいと思います。



議会改革、更に前進…（議会改革特別委員会からのお知らせ）

令和4年9月から議会改革特別委員会を設置し、これまで委員全員が同じ危機感をもって、理想とする「住民に開かれたよりよい白子町議会」づくりに取り組んできました。

今後もチャレンジ精神をもって議会改革に努めていきますが、来る令和5年9月議会で「議会基本条例」を制定すべく準備していますのでお知らせします。

補正予算等に対する 質疑応答

白子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

承認第2号

〔市川隆子 議員〕

議員 国保税限度額の引き上げにより対象となる世帯の収入と高所得世帯は何%か伺います。

税務課長 家族構成等により違うと思いますが、父・母・子供2人の家族4人で約900万円から1千万円の収入と想定できます。

また、高所得世帯は34世帯、1%ないと見込まれます。

議員 限度額と、引き上げとともに、5割、2割軽減が拡大されますが何世帯増えるのか。

また、影響額についても伺います。

税務課長 合わせて17世帯増える見込みです。

影響額は、約56万円ほどになります。

白子町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

承認第3号

〔市川隆子 議員〕

議員 今までの減免の申請状況について伺います。

健康福祉課長 対象者は国保加入者で、令和4年度1名で減免額4万9560円、令和3年度全額免除2名、半額減額2名で減免額27万4260円です。



白子町役場庁舎照明LED改修工事請負契約の締結について

議案第3号

〔大和多秀一 議員〕

議員 国からの助成金の関連で、令和4年度内の事業として進められたものですが、制限付き一般競争入札が不調だった事から参加資格が見直され、現在に至ったと聞いています。

この事により工事内容が変更されたのか、第2回目の入札参加業者は何か社だったのか伺います。

企画財政課長 入札参加の選定基準については、千葉県工事等入札参加事業者資格者名簿を参考にしています。入札を執行するにあたり、予定価格が1億円を超えておりましたので、A等級で執行いたしました。その結果、応札者がなく、特例規定を用いB等級まで広げ、2回目の入札を実施しました。

2社の応札があり最低

価格の業者を選定いたしました。工事の内容等については変更ありません。

令和5年度白子町一般会計第1回歳入歳出補正予算について

議案第4号

〔大和多秀一 議員〕

議員 公共施設整備基金繰入金3千万円の内容と基金の目標額が設定されているか伺います。

企画財政課長 旧国民宿舎白子荘にある産業廃棄物処理の財源に充てるもので、基金の取崩しです。

基金積立金の目標については、従来より定めがなく、現状も同様な状況となっています。



解体撤去をする白子荘

請願書

こんなことが
決まりました
定例会(第2回)
議案の内容

〔請願第1号〕

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

請願者 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会

会長 田中 弘美 (採択)

〔請願第2号〕

「国における2024年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

請願者 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会

会長 田中 弘美 (採択)

発議案

【発議案第1号】

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

(全会一致で可決)

【発議案第2号】

国における2024年度教育予算拡充に関する意見書

(全会一致で可決)

このほか9件の議案が審査され、いずれも可決されました。

なお、詳細は広報しらい。こ7月号をご覧ください。

議会広報委員会より

少しでも町民の皆様に町議会へ興味を持っていただけるよう、議会広報委員会では協議しながら「議会だより」を編集しています。地域の話題や季節の風景などの情報提供や「議会だより」紙面の意見など遠慮なくお聞かせください。連絡は議会事務局（☎ 33-2169）へ。

町議会を傍聴しましょう。

インターネットでも視聴可能です。

次の定例会は9月13日～の予定です。

「マスク着用は個人の判断が基本」となりました。



自治功労者表彰

第2回定例会において、表彰状の伝達が行われました。

この表彰は、千葉県町村議会議長会より、永年にわたり地域振興と地方自治の進展に尽力された功績により表彰されるものです。

本町から宗島理仁議員が議員11年以上の功績として表彰されました。

これまでの功績を称え、今後の活躍を祈念し、心からお祝い申し上げます。



宗島 理仁 議員

小谷村議会議員来町



小谷村議会議員の表敬訪問の様子

7月10日に長野県小谷村議会議員一行が白子町へ来町しました。

平成7年2月から姉妹都市交流が始まり、間もなく30年が経過します。海のない小谷村との関係ですが、住民の交流に加え災害時の支援協定を結ぶなど行政としても緊密な交流を深めています。今回は議会議員同士の交流でしたが、それぞれの行政課題や議会のあり方などの意見交換をして非常に有意義な時間を過ごしました。

編集後記

私が今、編集後記を書いているのは、月が改まった7月1日、1年の折り返しの節目に、断捨離が頭をよぎりました。

断捨離は、不要なものを「断ち、捨て、物への執着から離れる」意味を持っていきます。何回か挑戦しましたが、思い出がよみがえり、いつまた必要になるかもしれないと思うと捨てられない自分がいます。

捨てることを止められない物もあります。日本はまだ食べられる「食品ロス」が年間520万トンもあります。その半数が家庭用ロスであります。「もったいない」精神で各家庭がロス削減に今以上に取り組む必要があります。

捨てる量を増やさない秘訣は、不要な物を買わないことだと思います。断捨離も食品ロスもこれに尽きます。

大多和 正夫